



ゼアス®

エアー粒剤 散布マニュアル



今までにない カヤツリ剤



※ペルダール®はジメスルファゼットの愛称です。 ®は登録商標

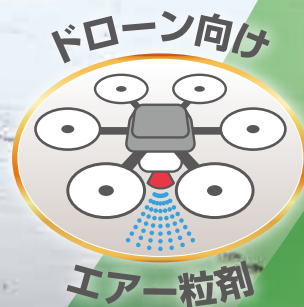
水稲用一発処理除草剤「ゼアス」から、 ドローンで撒ける「エア一粒剤」が登場!

今までにないカヤツリ剤、新成分「ベルダー」を配合した新しい水稲用一発処理剤が誕生。

気温などの環境条件に左右されにくく、安定した除草効果を発揮。

ガンコなホタルイ・カヤツリグサ科雑草を長くしっかり抑えます。

あなたの水田除草に是非、ゼアスをご活用ください。



登録番号：第24888号
有効成分：オキサジクロメホン……1.3%
 ジメスルファゼット……5.0%
 ピラクロニル……6.6%
容 量：3kg

水稲用一発処理除草剤

ゼアス® エア一粒剤



ホタルイ・多年生カヤツリグサ科に加え、ノビエの残効・SU抵抗性広葉雑草もカバー!
今までにないカヤツリ剤「ベルダー」を配合した、3成分の新・水稲用一発処理除草剤。

- 新成分「ベルダー」配合。ホタルイだけではなく、多年生カヤツリグサ科雑草にも卓効!
- ノビエに長期間効く「オキサジクロメホン」配合!
- SU抵抗性広葉雑草をカバーする「ピラクロニル」を配合!



ドローンによる散布法

● 圃場周辺への飛散防止と薬剤を十分拡散させるために、以下の条件を守って散布してください。

〈散布条件〉

飛行高度：2～3m
風速：3m/秒以下
畦畔からの距離：10m以上
水深：5cm以上

〈散布幅〉

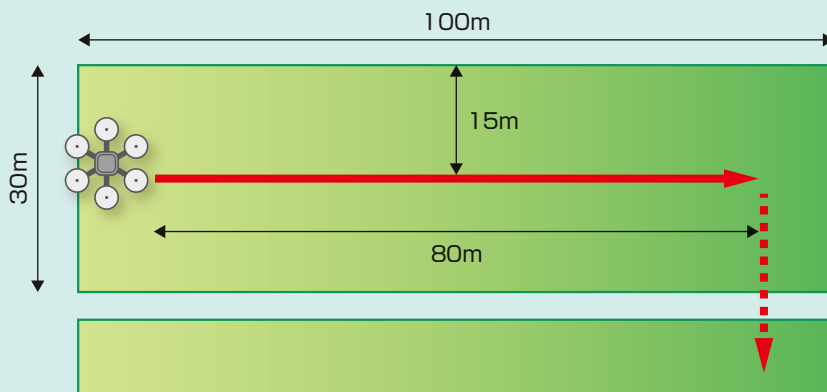
30m以下*
(片側15mまで拡散します)

*藻、浮草、表層剥離が発生している場合は適宜、散布幅を狭めてください。

● 推奨散布方法

機体	散布装置	飛行速度	インペラ回転数	開度(ポリウム)	吐出時間秒/10a	散布距離m/10a	散布幅	30×100m圃場の飛行ルート
AGRAS T10 AGRAS T25 AGRAS T30	GS110(T) GS440(T)	15km/時	600rpm	22.3%	6.4	26.7	30m以下 (片側15m以下)	圃場中央 片道1回 (80m)
MG-1 MG-1K T-20 T-20K	GS110 GS110K GS220 GS220K			37.5%	19.2	80		圃場中央 1.5往復 (240m)
AC101connect AC102	AC101 P13		遅	50%	12.8	53.3		圃場中央 1往復(160m)
YMR-08 YMR-II	GR1-10 ひし形ローラー		固定	79	19.2	80		圃場中央 1.5往復(240m)

● 飛行ルートの例 例)30aの圃場(30×100m)を中央片道散布する場合



薬剤は15mまで拡散しますので、幅30mの圃場であれば中央片道散布が可能です。1往復以上の飛行で散布する場合は中央散布以外でも問題はありませんので、隣接田を続けて散布する場合などは適宜散布幅を調整してご使用ください。

● 散布距離と飛行速度から吐出量を調整する場合

① 吐出量を定める

1分当たり、何gの薬剤を吐出させるかを以下の手順で求めます。

$$\text{吐出量 (g/分)} = \frac{\text{処理量 (g)}}{\text{散布距離 (m)}} \times \frac{\text{飛行速度 (m/分)}^\#$$

#10、15、20km/時=167、250、333m/分

例) 40a圃場(40×100m)を15km/時で散布する場合

0.5往復・・・吐出量=1,200g÷80m×250m/分=3,750g/分
1往復・・・吐出量=1,200g÷160m×250m/分=1,875g/分
1.5往復・・・吐出量=1,200g÷240m×250m/分=1,250g/分
2往復・・・吐出量=1,200g÷320m×250m/分=937g/分
2.5往復・・・吐出量=1,200g÷400m×250m/分=750g/分

② シャッター開度を調整する

①で決めた吐出量に合わせたシャッター開度に調整します。各散布装置の吐出量目安表を参考に調整してください。なお、往復回数は少ない方が効率的ですが、各散布装置には吐出量の上限があるので、吐出目安表に希望する吐出量がなければ、往復回数を増やすことで吐出量を減らして開度を決めてください。

吐出量目安表と散布例 ※「目安表」ですので、必ず試し撒きを行った上で、調整してください。

機 体 ; ■ AGRAS T10, T25, T30
 散布装置 ; ■ GS110(T), GS440(T) (DJI)

最大積載量 ● GS110(T) : 1.6ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分	開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
17.5%	1,716	57.2	23.0%	2,971	99.0
18.0%	1,825	60.8	23.5%	3,091	103.0
18.5%	1,935	64.5	24.0%	3,213	107.1
19.0%	2,045	68.2	24.5%	3,336	111.2
19.5%	2,157	71.9	25.0%	3,460	115.3
20.0%	2,270	75.7	25.5%	3,584	119.5
20.5%	2,384	79.5	26.0%	3,711	123.7
21.0%	2,499	83.3	26.5%	3,838	127.9
21.5%	2,615	87.2	27.0%	3,966	132.2
22.0%	2,733	91.1	27.5%	4,095	136.5
22.5%	2,851	95.0	28.0%	4,226	140.9

散布例

40×100m圃場を
15km/時、1往復で散布
(散布距離:80m×2=160m)

↓
吐出量=1,875g/分

↓
開度=18.2%
(1,869g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

機 体 ; ■ MG-1, MG-1K, T20, T20K
 散布装置 ; ■ GS110, GS220(DJI)
 ■ GS110K, GS220K(クボタ)

最大積載量 ● GS110 : 1.6ha分

最大積載量 ● GS110K : 1.6ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分	開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
24.0%	443	14.8	35.0%	835	27.8
25.0%	478	15.9	36.0%	872	29.1
26.0%	512	17.1	37.0%	909	30.3
27.0%	547	18.2	38.0%	947	31.6
28.0%	582	19.4	39.0%	985	32.8
29.0%	618	20.6	40.0%	1,023	34.1
30.0%	653	21.8	41.0%	1,061	35.4
31.0%	689	23.0	42.0%	1,099	36.6
32.0%	725	24.2	43.0%	1,138	37.9
33.0%	762	25.4	44.0%	1,177	39.2
34.0%	798	26.6	45.0%	1,216	40.5

散布例

40×100m圃場を
15km/時、2往復で散布
(散布距離:80m×4=320m)

↓
吐出量=937g/分

↓
開度=37.5%
(928g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インペラ回転数を600rpmに設定した場合

※45%を超えると吐出量は頭打ちになりますので、45%迄の使用をお願いします。

(P3の手順で吐出量を決め、それに合うシャッター開度を決めるのにご使用ください。)

機 体 ; ■ AC101connect, AC-102(NTTイードローン)

散布装置 ; ■ AC101 P13(NTTイードローン)

最大積載量 ● AC101 : 1.8ha分

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
30%	930	31.0
35%	1,027	34.2
40%	1,135	37.8
45%	1,255	41.8
50%	1,386	46.2
55%	1,529	51.0
60%	1,684	56.1

開度	吐出量 g/分	面積換算 a/分
65%	1,850	61.7
70%	2,028	67.6
75%	2,218	73.9
80%	2,420	80.7
85%	2,633	87.8
90%	2,857	95.2

散布例

40×100m圃場を
15km/時、1往復で散布
(散布距離:80m×2=160m)



吐出量=1,875g/分



開度=65%(1,850g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インベラ回転数を「遅」に設定した場合

機 体 ; ■ YMR-08, YMR-II

散布装置 ; ■ GR1-10(ヤマハ)

最大積載量 1.3ha分

ひし形ローラー ; オプション

ボリューム	吐出量 g/分	面積換算 a/分
20.0	516	17.2
25.0	554	18.5
30.0	591	19.7
35.0	628	20.9
40.0	664	22.1
45.0	700	23.3
50.0	736	24.5
55.0	771	25.7

ボリューム	吐出量 g/分	面積換算 a/分
60.0	805	26.8
65.0	840	28.0
70.0	874	29.1
75.0	907	30.2
80.0	940	31.3
85.0	973	32.4
90.0	1,005	33.5

※80%を超えると吐出量は頭打ちになります。

散布例

40×100m圃場を
15km/時、2往復で散布
(散布距離:80m×4=320m)



吐出量=937g/分



ボリューム=79(933g/分)

※投下しすぎないように、希望の吐出量以下になるように設定してください。

※インベラを装着していない状態で測定した場合

エア一粒剤 散布事例

ドローン散布には、「**エア一粒剤**」がおすすめ！
その省力性は、オペレーター様からも認められています。

2019年 鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 鹿児島県伊佐市
 耕種概要：6/17 移植
 6/19 マーシエットジャンボ処理
 7/11 アルテア中後期エア一粒剤、1キロ粒剤処理
 8/1 調査
 圃場規模：エア一粒剤…28a(29×98m)
 1キロ粒剤…31a(31×98m)
 機種：MG-1K
 設定/作業時間：右表
 処理時雑草：発生なし
 効果：両剤ともに雑草なし

オペレーター様のご感想

1キロ粒剤と比べて往復回数が少なく、
散布幅を気にする必要もないので
作業が楽だった。

	エア一粒剤	1キロ粒剤
飛行高度(m)	2	2
飛行速度(km/時)	10	15
シャッター開度(%)	35	20
インペラ回転数(rpm)	600	1,200
モード	M	M+
散布方法(往復回数)	1	3
作業時間 [*] (分/圃場)	2.89	5.51
作業時間 [*] (分/ha)	10.3	17.8
作業人数(人)	2	2

^{*}薬剤投入などの準備作業含む

■ ゼアスエア一粒剤の適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数 [#]
移植水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ オモダカ、クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	300g/10a	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	本剤…………… 1回 オキサジクロメホン剤… 2回以内 ジメスルファゼット剤… 2回以内 ピラクロニル剤 …… 2回以内
直播水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミズガヤツリ ヒルムシロ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

[#]本剤及びそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2025年3月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号
 ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>
 お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

ZAS-AP1K